

〔唐律疏議二十圖一〕諸鬪以兵刃斫射人、不著人者杖一百略。若刃傷略。及折人肋、眇其兩目、墮人胎、徒二年。

疏議曰○中眇其兩目、亦謂虧損其明而猶見物、

〔源平盛衰記一〕兼家季仲基高家繼忠雅等拍子附忠盛卒事

忠盛ハ桓武天皇ノ御苗裔葛原親王ノ後胤トハ申ナガラ、中比ハ無下ニ打下テ、官途モ淺ク、近來ヨリ都ノ住居モ疎々敷常ハ伊賀伊勢ニノミ居住セシ人ナレバ、此一門ヲバ伊勢平氏ト申ケルニ依テ、彼ノ國ノ器ニ准テ、忠盛右ノ目ノ眇スカタリケレバ、伊勢平氏ハスガメ成ケリトハ拍子ハヤシケルニコソ、

〔諸國里人談五氣形〕眇魚

出羽國鳥海山の川の黃類魚カヒカは、皆一眼眇なり、相傳ふ鎌倉權五郎、鳥海彌三郎とたゝかひに、右の眼を射らる、答の矢を於て又足を射る、その鏃をぬき、此川に至りて目を洗ふ、此縁によつて眇なりと云り、

近日

〔倭名類聚抄三病〕近日 食療經云、婦人任身、勿食驢馬肉、令子近日俗云賀米智

〔箋注倭名類聚抄二病〕按千金方妊娠食驢馬肉、令子延月、食驛肉產難、卽其事、謂妊婦食驢肉、令產月延引不生、食療經蓋與千金方同、延月近日、字形相近誤耳、外臺秘要引千金方、無令子二字、作食驢馬肉延月、然則近日卽延月之誤不疑、源君所見食療經誤作近日、遂訓知加米非是、病源候論有目不能遠視候、是卽知加米、後世謂之短視近視、

〔類聚名義抄二目〕近日チカメ

〔伊呂波字類抄知病瘡〕近日チカメ

〔增補下學集上二支體〕近日チカメ